

I 調査の概要

1 調査の目的

第二期墨田区子ども・子育て支援事業計画（墨田区次世代育成支援行動計画を内包）の策定にあたり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の需要量を見込むための基礎資料として、調査したものです。

2 調査対象

対象者	抽出方法	実施方法
就学前の子どもの保護者	平成30年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出	郵送により配布及び回収
小学生の保護者	平成30年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出	郵送により配布及び回収
成人前	(以下のとおり)	(以下のとおり)
高校生等	平成30年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出	郵送により配布及び回収
中学2年生	区内各中学校から2年生の1学級抽出	学校を通じて配布及び回収

3 調査期間


平成30年9月14日から平成30年9月30日まで

4 回収状況

対象者	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前の子どもの保護者	2,000	1,171	58.6%
小学生の保護者	1,486	795	53.5%
成人前	655	377	57.6%
高校生等	300	96	32.0%
中学2年生	355	281	79.2%
総計	4,141	2,343	56.6%

※本調査は抽出調査として、有効なサンプル（回収）数が確保できています。

5 調査結果の表示方法

- ・回答は各設問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の設問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

- ・各設問の回答者数（N）が少ない調査結果に関しては、図表化しておりません。

6 調査の精度

この調査は標本調査であり、今回得られた結果から墨田区全体としての意見を推測することができます。この場合、標本誤差は次の式より近似値を求めることができます。（ただし、信頼度95%とします。）

$$\delta = k \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

δ = 標本誤差

M = 母集団（人）

n = 有効回収数（人）

p = 結果の比率

k = 信頼度による定数（±1.96）

対象者	母集団 M	有効回 収数 n	比 率					
			p	50%	40%	30%	20%	10%
			1-p	50%	60%	70%	80%	90%
就学前の子どもの保護者	13,705	1,171	δ	2.74%	2.68%	2.51%	2.19%	1.64%
小学生の保護者	10,568	795	δ	3.34%	3.27%	3.06%	2.67%	2.01%
中学2年生	1,266	281	δ	5.16%	5.05%	4.73%	4.13%	3.10%
高校生等	5,299	96	δ	9.91%	9.71%	9.08%	7.93%	5.95%

※母集団Mは、平成30年9月1日現在の数

上記表の見方について、「ある設問の回答者数が1,171人であり、その設問中の選択肢の比率が70%であったとき、その回答比率の誤差の範囲は大きくても±2.51%である。」ということです。